

台風22号

災害発生日●平成16年10月8日～10日
 主な被災地●関東・中部地方

首都圏を直撃した巨大台風 暴風雨により都市機能が麻痺

首都圏を直撃した台風22号は、激しい集中豪雨と史上まれに見る強風で、交通機関などに大きな被害をもたらした。整備された都市機能をあざ笑うかのように吹き荒れ、各地に被害のつめ跡を残して瞬く間に去っていった。人的被害は死者7人、行方不明者2人、負傷者166人。住家被害は全壊135棟、半壊287棟、一部破損4509棟。

観測史上最強の巨大台風 けた違いの威力が関東直撃

10月4日12時にフィリピンの東海上で発生した台風22号は、日本の南海上を北上しながら次第に強い勢力に発達。8日には速度を速めながら南大東島の東を北北東に進み、翌9日の夕方、強い勢力を維持したまま静岡

県伊豆半島に上陸。その後、関東地方を直撃した。

台風22号と前線の影響で、東海地方から関東地方南部にかけての各地で、降り始めからの総雨量が300mm～400mmに達する大雨に見舞われた。特に台風を中心付近では、比較的狭い範囲ながら集中豪雨となった。台風が上陸した9日、静岡県御前崎で最大時間雨量89mm、首都圏でも18時までに時間



雨量69mmの猛烈な雨が降った。

雨だけでなく風も記録的だった。静岡県では、最大瞬間風速が石廊崎で67.6m、網代で63.3mと、それぞれ観測史上最大となった。首都圏でも、東京の羽田空港では10分間の平均風速としては観測史上最大の31.9mを記

▼強風で横倒しとなったトラック（横浜市金沢区）〔写真提供／毎日新聞社〕





▲土砂崩れが発生した京浜急行電鉄日ノ出町駅付近〔写真提供/共同通信社〕



▲地盤が流され傾く家屋（静岡県伊東市宇佐美）〔写真提供/毎日新聞社〕

録した。

暴風・豪雨が都会を襲う 都市の弱点つき被害続出

首都圏を直撃した台風22号の猛威は各都県に大きな被害をもたらした。想像を絶するような強風を物語るのがトラック横転被害だ。神奈川県横浜市金沢区の駐車場に駐車してあった2tトラックなど車両38台が折り重なるように横倒しになり、乗り上げるように積み重なった。被害は、台風の中心が災害発生地域の近くを通過していた9日17時ごろに発生。突風がトラックを下から巻き上げたのではないかと推測されている。被災地より北に十数km離れた横浜地方気象台では被害当時、最大瞬間風速39.9mを観測

している。

暴風だけでなく大雨の被害も相次いだ。横浜市西区のJR横浜駅西口付近で9日18時ごろ、帷子川かたびらの水があふれて飲食店街に流れ込み、地下部分が水没した。被害にあった地下店舗などでは、客が逃げ遅れた可能性があるとして横浜市西消防署が出動、水をくみ出し、ダイバーが捜索を行っている。水没現場付近の商業地区では、ビルや住宅330棟が床上浸水、83棟が床下浸水の被害を受けた。

冠水、河川の氾濫などの被害は、東京都や千葉県でも多数発生している。東京都港区の東京メトロ・麻布十番駅は、3番出入口より雨水が流れ込み、改札通路、ホームおよび線路が冠水。南北線は一時、不通となった。渋谷区のJR渋谷駅前は夕方になって道路が冠水。ひざ下まで水につかった。

品川区北品川の山手通りでは、道路が約50cm冠水し、乗用車が立ち往生する被害が発生。車内に家族3人が閉じ込められたが、パトカーで巡回中の警察官に窓から救出され、全員無事であった。だが、港区赤坂では人的被害が発生した。排水管工事現場の排水管内で作業中の作業員が、局地的な豪雨によって突如大量に流れてきた水に流されて行方不明になり、4日後に遺体で発見された。

一方、千葉県では夷隅町を流れる夷隅川とその支流が氾濫。同町内の3箇所、合計61世帯が孤立し、消防団などがボートで救出に向かった。また、勝浦市でも夷隅川の氾濫によって高齢者共同住宅と周辺世帯で計20人が取り残されたが、全員救助された。このほか、千葉県内では市原市で養老川が危険水位を超えたため、流域70世帯に避難勧告が出されるなど、河川流域での避難が相次いだ。

静岡県では南伊豆町石廊崎で観測史上最大となる最大瞬間風速67.6mを記録、各地で土砂崩れや強風、浸水による被害が相次いだ。台風による死者は県内で5人、行方不明者は1人となった。

豪雨の猛威は、河川の氾濫だけでなく、土砂災害ももたらした。東京都千代田区のJR四ツ谷駅-市ヶ谷駅間で18時ごろ、線路脇の斜面の土砂が崩れ、線路を10m近くにわたってふさいだ。幸いけが人はなかったが、東京発高尾行きのJR中央線快速下り電車が一時運休となった。

横浜市中区の京浜急行電鉄日ノ出町駅近くでも、同様の被害が発生している。9日夕方、野毛山トンネル上部の斜面が幅5m、長さ12mにわたって崩落。京浜急行の上下線の線路を土砂がふさいで不通となり、台風の中、家路を急ぐ乗客に影響を与えた。



▲駅構内に流れ込んだ泥を掃除する職員（東京メトロ麻布十番駅）〔写真提供/読売新聞社〕



▲繁華街に並ぶ店内まで冠水したJR横浜駅西口前〔写真提供/読売新聞社〕